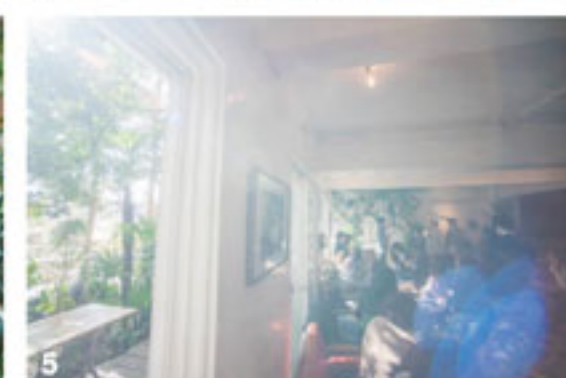




1. お揃いテイストの革のブーツが、とても個性的。 2. 会場へ向かうおふたりのオフショット。まるで映画の一コマのよう。 3. 高砂席のソファは、思い出のアルバムや趣味のスケートボード、お気に入りのジーンズといった「とっておき」のディスプレイ・ツリーで囲んで。 4. ガーデンのようなテラスからは、広瀬川の涼やかなせせらぎを感じることができる。 5. カフェの大きな窓から木々の緑、木漏れ日。ナチュラルな雰囲気にも包まれるロケーション。 6. 「誓いの言葉」では、お互いの「あなたのこんなところがわたしにとってのとおき」を発表しあうサプライズを。 7. ご親族さま、ご友人さま、皆さまと一緒に楽しみながらセレモニーを作り上げた、という一体感に満ちていました。

ふたりの「とっておき」に囲まれて ゲストに「とっておき」のおもてなしを

「店頭に立つ彼の、後ろ姿に惹かれたんです。少しくせのある立ち方や、デニムのライン。何でもなかったけど、あ、いいな。」
ウェディングデザイナーが投げかけた「新郎さまを意識されたきっかけは？」という質問への、新婦さまの答え。それがとてもおふたりらしくて、そこからおふたりが望むセレモニーがはつきりと具体的なイメージを帯びてきました。
同じショッピングモール内のショップスタッフとして出会ったおふたり。ショップ同士もみんな仲が良く、パーティーやレジャーで顔を合わせるうちに、実際に発展したのだそう。おふたりがまず望んだことは、「形式的な式にはしたくない。ふたりの個性が活かされたセレモニーにしたい」「ゲストの皆さんに心から楽しんでもらいたい。一体感のあるカジュアルなスタイルで、感謝を伝えたい」ということ。だから、一般的に結婚式場やホテルではなく、完全オリジナルデザインウェディングをプロデュースする「リア・フィーユ」に興味を持たれ、ご来店されたといいます。おふたりへの最初のご提案としてウェディングデザイナーが選んだ会場は、広瀬川の河畔に立つアンティークな風合いのカフェ。訊けば、おふたりも大好きなお店だったということ、この「軒目のご見学ではおふたりの気持ちやイメージも固まったようでした。」
麗らかな春の日、芽吹き始めた新緑に囲まれた会場でセレモニーが

始まりました。いわゆる新郎新婦入場ではなく、おふたりが会場を訪れるゲストの方々をお迎えするスタイル。今日はおふたりがこの素敵なカフェのオーナーになって、皆さんをおもてなしするのです。高砂として設えたソファには、ふたりの「とっておき」をツリー・ディスプレイして。その周りを囲むのは、おふたりにとっての最上の「とっておき」であるゲストの皆さん。アーティストにパティシエ、ミュージシャンなど才能あふれるゲストの皆さんも、新郎新婦のためにさまざまなサプライズをご用意してくださいました。ふたりのお母さまを立会人に、新郎新婦さまがお互いに「あなたのこんなところがわたしにとってのこんなところ」を発表しあう人前式。自由な交流を楽しめるビュッフェスタイル。ゲストの中からいちばんのおしゃれさんを選ぶベストドレッサー賞。ファッショナブルであたたかく、カジュアルで個性的なセレモニーは、ゲストひとりひとりの心にも「とっておき」の時間として刻まれたことでしょう。

ご相談・ご予約受付中

リア・フィーユ

☎ 022-714-1122

info@ria-feuille.jp

定休日/毎週火曜日

営業時間/10:00~19:00

住所/仙台市青葉区一番町2-7-12

グリーンウッド仙台一番町ビル1F

